

第2章 神明後遺跡出土の縄文時代中期塗彩土器について

I はじめに

神明後遺跡から赤色塗彩によって文様が描かれた土器が出土した。縄文時代中期の彩色された浅鉢については近年集成が図られており（中山2005）、ともすれば見逃しがちな塗彩土器について注意が促され、類例も増えてきたところである。今回、塗彩文様のある土器を報告するにあたり、埼玉県内出土の縄文時代中期の塗彩された土器について簡単な集成を図り、その上で塗彩文様のある土器の位置づけを行ってみたい。

II 塗彩のある土器

市内では、塗彩された縄文土器をいくつか検出している。最古の土器は縄文時代前期の諸磯b式で、鷺森遺跡で2点検出した。続いて、中期前葉貉沢式の浅鉢2点、新道式の浅鉢2点を龜居遺跡で、勝坂末の浅鉢は西ノ原遺跡の住居3軒（16・17・60号住居）と東台遺跡の住居2軒（92・147号住居）で、加曾利E I新式では西ノ原遺跡2軒（77・176号住居）、神明後遺跡5軒（6・17・18・21・22号住居、集石7）で浅鉢と有孔鍔付土器。加曾利E IIは西ノ原遺跡3軒（65・66・68号住居）、東台遺跡1軒（45号住居）で浅鉢と有孔鍔付土器を検出している。

西ノ原遺跡内で塗彩土器が多く出土した住居は60・65・66・176号住居である。60号住居は覆土中層に完形土器を含めて多量の遺物が出土したが、土器の中に異系統（大木8a新相）が多いという特徴をもつ。66・176号の位置する一帯は、遺跡内で最も住居が密に重複する場所で、蛇紋岩製の小形磨製石斧などがまとまって出土した。

神明後遺跡の18・22号住居も土器の一括大量投棄があり、22号住居には異系統の土器が多く、西ノ原60号住居と似た特徴をもつ。

土器出土量の多い住居ゆえに塗彩土器が多いという可能性もあるが、塗彩土器の出土分布には注意する必要があろう。

県内（市内を含めて）出土の縄文時代中期の塗彩土器は35遺跡（註1）で検出しているが、勝坂末から加曾利Eに集中する。（第199図及び第91表参照）

第90表 埼玉県内出土塗彩土器集計表

塗彩部位 器種	内外 面	外 面 のみ	内 面 のみ	合 計	a	b	c	d	e
浅鉢・鉢	48	32	45	125	27	28	4	3	17
壺	2	3		5	2				4
瓢形注口	3	1		4	4				3
有孔鍔付	3	9	4	16	1				
皿			1	1					
台付			1	1					
深鉢			1	2	3		1		
その他	4	3	1	8	4			6	1
合計	60	50	53	163	38	29	4	16	18

県内出土の塗彩土器は、第90表が示すとおり、浅鉢が大半を占め、次に有孔鍔付土器が多い。両者には無文と隆帶・沈線などの文様を持つ土器が存在する。塗彩部位によって類別すると以下のようになる。

- a. 全面
- b. 口縁部
- c. 隆帶文様上
- d. 沈線・微隆帶等に囲われた文様帶内。
- e. 塗彩によって文様を描く

以上のうちb口縁部はcやeとの組み合せ、すなわち口縁部文様帶に塗彩されることが多く、eの場合は内外面に塗彩文様のある場合と、内外面どちらかが文様で残りは全面塗彩等の場合がある。また、口縁部の塗彩は屈曲部分で区切られることが多い。

しかし、塗彩は土器の一部で確認できることが多く、ほとんどは剥離していると思われる。報告では「一部に痕跡」と記述していることが多い。実際、市内出土の遺物も一部の痕跡から塗彩を判断できるに過ぎない。また、隆帶上を塗彩する土器も一部の痕跡であることから、隆帶以外の場所も塗彩している可能性も残るわけである。特に破片の場合は文様を描いたものか、全面塗彩なのかの判別は困難である。

以上不備な点が多々ある上での集成であるが、あえて県内の傾向を示すと以下のようになる。

- 塗彩される土器は浅鉢、特に大・中型の浅鉢が多い。
- 勝坂末から加曾利E IIIにかけて、隆帶文様を持つ浅鉢が塗彩される。特に隆帶上を塗彩する例がある。
- 加曾利E IからE IIにかけて塗彩文様の浅鉢が確認できる。特にE I新に多い。

●加曾利E I新以降の有孔鍔付土器に塗彩が確認できる。特にE I・IIには浅鉢同様無文の土器が存在する。

●加曾利E III以降、沈線や微隆起線で塗彩範囲を区画する例が増える。

III 塗彩によって文様の描かれた土器

神明後遺跡17号住居跡から出土した浅鉢（第137図No12）は、赤色顔料（註2）で文様が描かれていた。文様は懸垂文と半円形の周囲を2本の細い併行線で囲うもので、土器の半分以上が欠損しているため確実ではないが、おそらく四分割して文様が配置されていると思われる。基本的に加曾利E式土器の文様構成と同じである。口縁部は内外面とも赤色塗彩されていた痕跡がある。特に内面の一部は、煤もしくは黒色顔料の上に赤色顔料が塗られており、細かくひび割れていた。

神明後遺跡22号住居跡出土の浅鉢（第161図No33）内面底には、2本の円弧文様が赤色塗彩されている。下地として黒色塗彩の痕跡がある。

西ノ原遺跡第128地点では176号住居で3点、トレンチで1点、文様のある破片が出土した。特にNo26は「U」字形に黒色顔料と赤色顔料で塗彩しており、黒い縁取りがなされているように見える明確な文様である。

県内で見つかった塗彩文様のある縄文中期の浅鉢は菅見の限りでは以外と少ない。

富士見市針ヶ谷北通遺跡2号住居からは加曾利E I新式期の見事な文様が描かれた浅鉢が出土している。内面は渦巻状と弧状の文様、外面は二叉、三叉の放射状に赤彩されている。

所沢市膳棚遺跡6号住居では内面に渦巻文様が黒色塗彩された浅鉢破片、12号住居では内面に渦巻状と弧状文様が赤色塗彩された浅鉢破片が検出されている。

飯能市堂前遺跡では遺構外ながら外面に渦巻き文様を赤色塗彩した浅鉢破片が出土している。

日高市宿東遺跡では、3号住居跡で内外面に文様を持つ浅鉢破片が出土しているが、赤色塗彩と黒色塗彩で文様が塗り分けられている。46号住居跡で内面に文様が赤色塗彩された浅鉢破片が出土する。

毛呂山町まま上遺跡では外面に楕円区画文様が赤色塗彩された浅鉢破片が出土している。

さいたま市寿能遺跡では縄文時代中期から晩期までの塗彩土器が報告されているが、報告文でI期とされる中期後葉から後期初頭の土器は19点が掲載されている。加曾利E III・IV、称名寺の土器は、微隆起線や沈線などで囲われた中を塗彩しているが、加曾利E I～IIの土器は文様区画内を塗彩したもの他に、赤色で内外面に円形か渦巻の文様を描き、「赤漆塗の部分の他に、黒漆塗(もしくは生漆塗)の部分認められ」「黒色は下地としてもしくは下地のごとく用いられ」ていた。I期の赤色顔料は分析の結果全てベンガラであった。ただ、漆膜は分析の結果ではなく観察結果の判断である。（成瀬1984）

深谷市深谷町遺跡出土の土器も加曾利E III・IVで、微隆起線で囲われた中を塗彩しているが、1点だけ弧状の帶が内面に描かれた条線文土器が出土している。

おそらくこの他にも塗彩された縄文中期の土器は存在すると思われる。県内の報告書を全て調べていないなどの不備もあるが、塗彩されていても剥離していたり、残っていても塗彩が文様なのか一面なのかは不明である。

数少ない県内出土の塗彩文様のある土器をまとめると以下のようになる。

●器種は浅鉢。

●文様のモチーフは渦巻き・円弧（連弧、楕円）が主。

●文様は内面のみ・外面のみ・内外両面に描かれる。ただし破片や顔料剥落などの理由で不明の場合もある。

●塗彩は赤色のみ・黒色のみ・赤黒二色（黒色下地に赤色塗彩を含む）

●時期は加曾利E I～E II期に多い。（註3）

IV まとめ

明確な塗彩はともかく、ほとんどは赤色が僅かに残っていたり、色がくすんで塗彩かどうかの判断がつきかねるものもある。赤色塗彩の場合は、外面に斑もしくは放射状に残る橙色や茶褐色の痕跡が、焼成ムラによるものか塗彩なのか。また、黒色塗彩についても同様に焼成時の黒斑かどうかの判断が難しく、黒色塗彩といった認識もなく取り扱われている可能性が高い。

仔細に観察すれば、塗彩土器の比率が高まる事例もあり（尾形2007）、中山氏が指摘するとおり、無文の浅鉢が塗彩されている可能性が高いとすれば、塗彩土器の比率はもっと高くなる。今後は塗彩の有無をよく確認するとともに、無文浅鉢＝塗彩土器の可能性を考慮し、浅鉢の出土量や出土分布を把握していく必要がある。浅鉢の出土量や分布の特徴があるかないかにより、浅鉢が特殊なものか普遍的なものの性格も見えてこよう。

一方塗彩文様のある土器は、塗彩が文様であるかどうかかも不明な土器片が多いと思われるので、明言はできないが、文様のモチーフは県外（関東地方）を見てても渦巻き・円弧・鋸歯が主体で、神明後遺跡17号住居跡出土のモチーフは珍しいといえる。

今後は県内の報告を仔細にあたり資料を蓄積したうえで塗彩土器と塗彩文様について再度検討を試みたい。

最後になったが、日本考古学協会員の今井堯氏には本稿をまとめるに当たり数多くの御教示をいただいた。また、埼玉県による調査（教育委員会・遺跡調査会・埋蔵文化財事業団）で出土した塗彩土器を検索するにあたり、事業団の栗岡潤氏に多大なるご尽力をいただいた。事業団の大屋道則氏には顔料の分析にあたって便宜いただいた。記して謝意を表する次第である。

（高峰直成）

註

- (1) 県内市町村の報告についてはすべてをあたる時間がなかったため、入間地区と北足立郡南西部（志木市、朝霞市、新座市、和光市）のみの集成である。また、記述の見落とし等もあると思われる所以、機会を見て県内の再集成を行ってみたい。
- (2) 埼玉県立埋蔵文化財センターで、塗彩面を蛍光X線で分析した結果、水銀の成分は検出されていないので、顔料はおそらくベンガラ（酸化第二鉄）と思われる。
- (3) 「中山2005」においても、塗彩による文様描写のある浅鉢は、8b期（勝坂II）に現れ、10期（加曾利E1）が最盛で11期（加曾利E2）まで継承するとある。

引用・参考文献

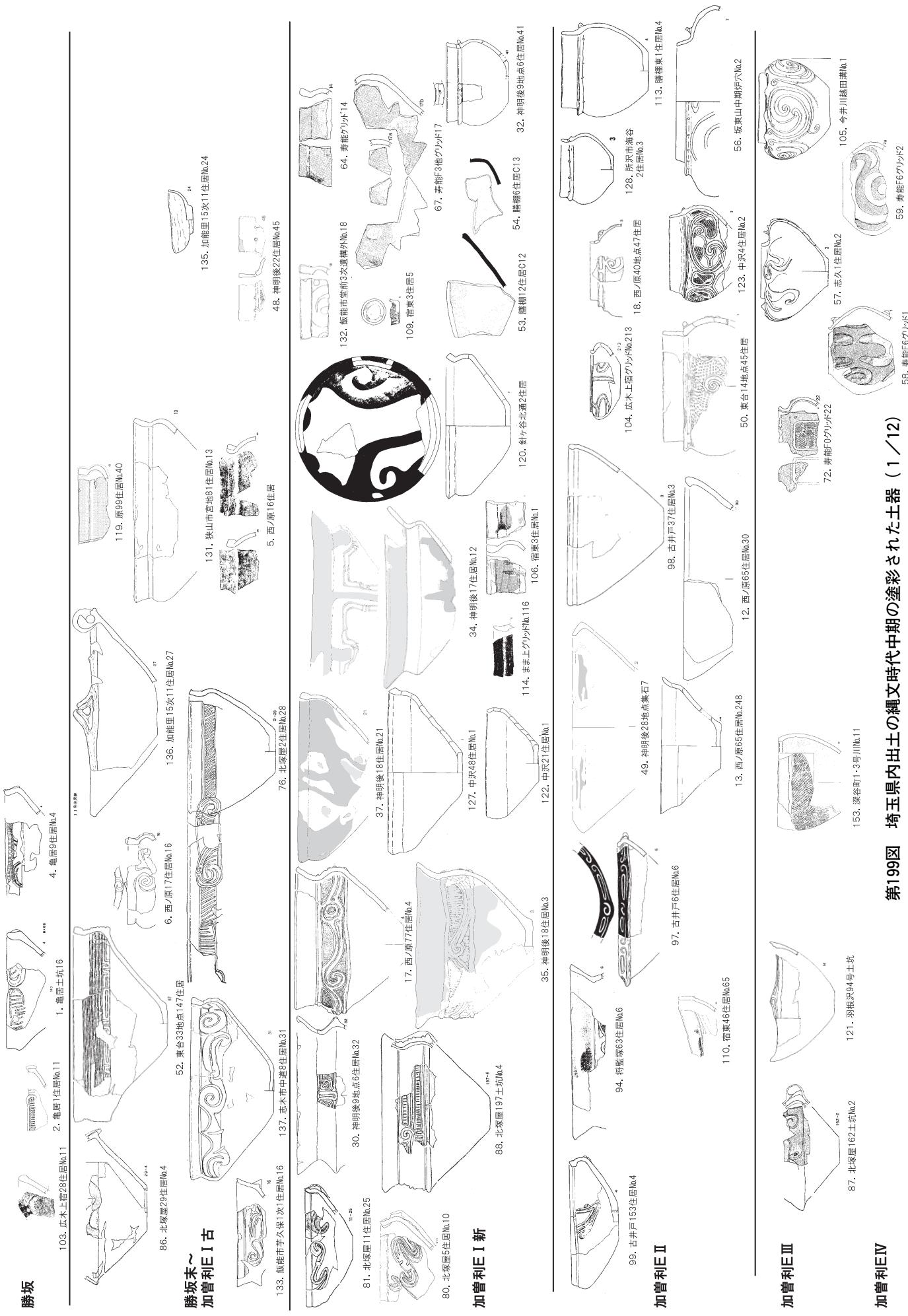
- 青柳美雪2007 「縄文時代中期の浅鉢について」志木市遺跡調査会調査報告第12集『中道遺跡第65地点』志木市遺跡調査会
 中山真治2005 「縄文時代中期の彩色された浅鉢についての覚え書き－関東地方西南部の中期集落資料を中心に－」『東京考古23』東京考古談話会
 成瀬正和1984 「赤色塗彩土器・漆塗土器・漆液容器について－赤色顔料の科学的分析結果などから－『寿能泥炭層遺跡発掘調査報告書』－人工遺物・総括編－埼玉県教育委員会

集成一覧掲載報告書

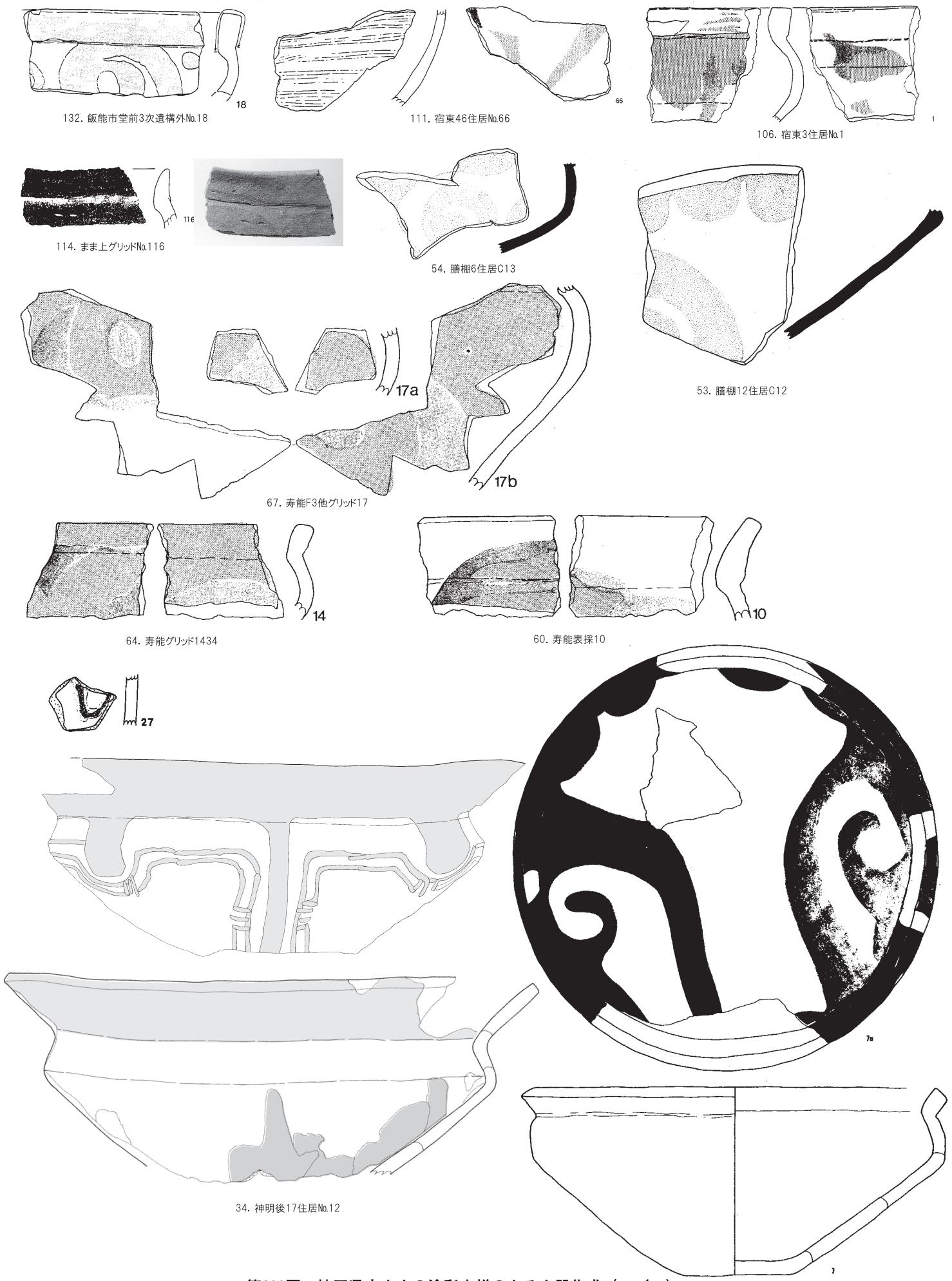
1	大井町遺跡調査会1998大井町遺跡調査会報告第8集「亀居遺跡」
2	大井町遺跡調査会1992大井町遺跡調査会報告第3集「亀居遺跡（第29地点）」本村遺跡（第17・18地点）」
3	大井町遺跡調査会1996大井町遺跡調査会報告第6集「西ノ原遺跡」
4	大井町教育委員会1990文化財調査報告第20集「東部遺跡群X」
5	大井町教育委員会2003文化財調査報告第34集「町内遺跡群XⅠ」
6	大井町遺跡調査会2008大井町遺跡調査会報告第18集「西ノ原遺跡」
7	大井町教育委員会2000文化財調査報告第31集「町内遺跡群Ⅳ」
8	ふじみ野市教育委員会2007ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第4集「市内遺跡群3」
9	大井町教育委員会1989文化財調査報告第18集「東部遺跡群Ⅸ」
10	大井町教育委員会2005文化財調査報告第36集「町内遺跡群XⅡ」
11	大井町遺跡調査会2005大井町遺跡調査会報告第17集「西ノ原遺跡Ⅳ・東台遺跡V」
12	埼玉大学考古学研究会1970鳳翔7号「膳棚」
13	埼玉県教育委員会1973埼玉県遺跡調査会報告書第1集「岩の上・雉子山」
14	埼玉県教育委員会1973埼玉県遺跡調査会報告書第2集「坂東山」
15	埼玉県教育委員会1976埼玉県遺跡調査会報告書第31集「志久遺跡」
16	埼玉県教育委員会1984「寿能泥炭層遺跡発掘調査報告書」－人工遺物・総括編－
17	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1982第8集「下南原」
18	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1985第48集「北塚屋Ⅱ」
19	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1986第63集「将監塚」
20	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1987第66集「北・八幡谷・相野谷」
21	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1989第75集「古井戸」
22	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1993第125集「中耕遺跡」
23	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1993第131集「谷津・二反田・下南山」
24	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1997第185集「広木上宿遺跡」
25	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1997第191集「今井川越田遺跡Ⅲ」
26	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1998第197集「宿東遺跡」
27	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1999第214集「宿北V遺跡」
28	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団1999第215集「膳棚東遺跡」
29	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団2001第242集「まま上遺跡」
30	財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団2004第295集「原/戸崎前/薬師堂根/相野谷/向原/北」
31	富士見市遺跡調査会1984富士見市遺跡調査会報告第23集「針ヶ谷遺跡群」
32	富士見市教育委員会1992富士見市文化財報告第42集「富士見市遺跡群X」
33	富士見市遺跡調査会1998富士見市遺跡調査会報告第49集「中沢遺跡第2・3・10地点」
34	富士見市遺跡調査会1999富士見市遺跡調査会報告第52集「勝瀬原遺跡群」
35	富士見市教育委員会2000富士見市文化財報告第52集「富士見市内遺跡Ⅷ」
36	所沢市教育委員会2000所沢市埋蔵文化財調査報告書第22集「海谷遺跡」
37	狭山市遺跡調査会1998狭山市遺跡調査会報告第12集「滝祇園遺跡」
38	狭山市遺跡調査会2003狭山市遺跡調査会報告第13集「丸山遺跡」
39	狭山市教育委員会2007狭山市文化財調査報告第26集「宮地遺跡第6次調査」
40	飯能市教育委員会1986飯能市内遺跡発掘調査報告書3「飯能の遺跡(3)」
41	飯能市教育委員会1991「飯能の遺跡(11)」
42	飯能市遺跡調査会1992飯能市遺跡調査会発掘調査報告書7「加能里遺跡第13次調査」
43	飯能市教育委員会2001「飯能の遺跡(30)」
44	志木市遺跡調査会2007志木市遺跡調査会調査報告第12集「中道遺跡第65地点」
45	深谷市教育委員会1985埼玉県深谷市埋蔵文化財発掘調査報告書第9集「深谷町遺跡」

第91表 埼玉県内出土塗彩土器一覧表

	所在地	遺跡名	構造	No	器種	時期	塗彩範囲		備考	文献		所在地	遺跡名	構造	No	器種	時期	塗彩範囲		備考	文献		
							外	内										外	内				
1	ふじみ野市	亀居	土16	4	浅鉢	貉沢	b			1		78	寄居町	北塚屋	2号住居	42	浅鉢	加E I	○		体部塗彩	18	
2	ふじみ野市	亀居	1号住居	11	浅鉢	貉沢	b			1		79	寄居町	北塚屋	2号住居	43	浅鉢	加E I	a	a		18	
3	ふじみ野市	亀居			浅鉢	新道	b			1		80	寄居町	北塚屋	5号住居	10	浅鉢	加E I 新	b,c		外面隆帯	18	
4	ふじみ野市	亀居	9号住居	4	浅鉢	新道	○ ○			2		81	寄居町	北塚屋	11号住居	25	浅鉢	加E I 新	b,c	b	外面隆帯	18	
5	ふじみ野市	西ノ原	16号住居	10,11	浅鉢	勝末~加E I 古	○	2点		3		82	寄居町	北塚屋	18号住居	2	台付	加E II	a			18	
6	ふじみ野市	西ノ原	17号住居	16	浅鉢	勝末	b			3		83	寄居町	北塚屋	20号住居	1	浅鉢		a			18	
7	ふじみ野市	西ノ原	60号住居	22	浅鉢	勝末~加E I 古	b			3		84	寄居町	北塚屋	22号住居	38	浅鉢	加E I 古	a	b	外面隆帯	18	
8	ふじみ野市	西ノ原	60号住居	23,25	浅鉢	勝末~加E I 古	b	2点		3		85	寄居町	北塚屋	28号住居	6	鉢		a	a		18	
9	ふじみ野市	西ノ原	60号住居	237	浅鉢	勝末~加E I 古	○	1点		3		86	寄居町	北塚屋	29号住居	4	浅鉢	勝III	c		外面隆帯	18	
10	ふじみ野市	西ノ原	60号住居	238	浅鉢	勝末~加E I 古	○	外面隆帯		3		87	寄居町	北塚屋	土162	2	浅鉢	加E III	a	a	沈線	18	
11	ふじみ野市	西ノ原	60号住居	28,29	浅鉢	勝末~加E I 古	○	2点		3		88	寄居町	北塚屋	土197	4	浅鉢	加E	a	a	外面隆帯	18	
12	ふじみ野市	西ノ原	65号住居	30	浅鉢	加E II	○			3		89	寄居町	北塚屋	土158	1	浅鉢	加E	a	a		18	
13	ふじみ野市	西ノ原	65号住居	248	浅鉢	加E II	○			3		90	寄居町	北塚屋	土203	6	浅鉢	加E	a	a		19	
14	ふじみ野市	西ノ原	66号住居	79	浅鉢	加E II	○			3		91	寄居町	北塚屋	土215	7	浅鉢	加E	a	a		18	
15	ふじみ野市	西ノ原	66号住居	80	浅鉢	加E II	b	外面隆帯		3		92	寄居町	北塚屋	土231	2	浅鉢	加E	a	a	口唇刻目	18	
16	ふじみ野市	西ノ原	66号住居	82	有孔鉢付	加E II	○			3		93	寄居町	北塚屋	グリッド	27	浅鉢	加E	a	a	外面隆帯	18	
17	ふじみ野市	西ノ原	77号住居	4	浅鉢	加E I 新	○			3		94	本庄市	将監塚	63号住居	6	浅鉢	加E II	○		外面隆帯	19	
18	ふじみ野市	西ノ原	47号住居	3	有孔鉢付	加E II	○			4		95	伊奈町	北	3号住居	34	深鉢	加E	○			20	
19	ふじみ野市	西ノ原	68号住居	99,100	浅鉢	加E II	b	b	2点	5		96	伊奈町	北	63号住居	20	浅鉢	勝	a	a		20	
20	ふじみ野市	西ノ原	68号住居	102	浅鉢	加E II	○			5		97	兎玉町	古戸戸	6号住居	6	浅鉢	加E II	b		沈線文様	21	
21	ふじみ野市	西ノ原	167号住居	26	浅鉢		○			6		98	兎玉町	古戸戸	37号住居	3	浅鉢	加E II	○		口唇に塗彩	21	
22	ふじみ野市	西ノ原	175号住居	22	浅鉢	加E II	b			6		99	兎玉町	古戸戸	153号住居	4	浅鉢	加E II			口唇に塗彩	21	
23	ふじみ野市	西ノ原	176号住居	20	浅鉢	加E II	○ ○			6		100	坂戸市	中耕	9号住居	9	浅鉢		a			22	
24	ふじみ野市	西ノ原	176号住居	18,19,20	浅鉢	加E I 新	a	a		6		101	坂戸市	中耕	表探	41	浅鉢	加E I	a			22	
25	ふじみ野市	西ノ原	176号住居	29,30	浅鉢	加E I 新	○	外面隆帯		6		102	日高市	二反田	12号住居	3	有孔鉢付	加E II	○			23	
26	ふじみ野市	西ノ原	176号住居	22,33,34	浅鉢	加E I 新	e			6		103	美里町	広木上宿	28号住居	11	浅鉢	阿II	○		波状口縁	24	
27	ふじみ野市	西ノ原	遺構外	23	浅鉢		○ ○			6		104	美里町	広木上宿	グリッド	213	浅鉢	加E	○		沈線文様	24	
28	ふじみ野市	西ノ原	遺構外	25	浅鉢		○ ○			6		105	本庄市	今井川越田	濃7	1	有孔鉢付	加E III	○ ○		渦巻+鹿手沈線文様	25	
29	ふじみ野市	西ノ原	遺構外	27	浅鉢		e			6		106	日高市	宿東	3号住居	1	浅鉢	加E I	a,c	e	黒色と赤色で文様塗彩	26	
30	ふじみ野市	神明後	6号住居	32	浅鉢	加E I 新	b	b		7		107	日高市	宿東	3号住居	2,3	浅鉢	加E I	○	○		26	
31	ふじみ野市	神明後	6号住居	37	浅鉢	加E I 新	b	b		7		108	日高市	宿東	3号住居	4	浅鉢	加E I	○			26	
32	ふじみ野市	神明後	6号住居	41	有孔鉢付	加E I 新	○			7		109	日高市	宿東	3号住居	5	深鉢	加E I	○		外面捲足、底部破片	26	
33	ふじみ野市	神明後	15号住居	21	有孔鉢付	加E II	○			8		110	日高市	宿東	46号住居	65	浅鉢	加E	b		波状口縁	26	
34	ふじみ野市	神明後	17号住居	12	浅鉢	加E I 新	b,e	円形+懸垂2本並行線		8		111	日高市	宿東	46号住居	66	浅鉢	加E	e		モチーフ不明	26	
35	ふじみ野市	神明後	18号住居	3	浅鉢	加E I 新	a		外面隆帯		8		112	上尾市	宿北V	土20	11	壺形	加E IV	○			27
36	ふじみ野市	神明後	18号住居	20	浅鉢	加E I 新	b	b	口唇刻目		8		113	所沢市	膳棚東	1号住居	4	有孔鉢付	加E II	○			28
37	ふじみ野市	神明後	18号住居	21	浅鉢	加E I 新	a			8		114	毛呂山町	まま上	グリッド	116	浅鉢	加E	e		精円区画文様	29	
38	ふじみ野市	神明後	18号住居	22	浅鉢	加E I 新	b	b		8		115	伊奈町	原	96号住居	89,100	浅鉢	勝坂末	○ ○		外面隆帯	30	
39	ふじみ野市	神明後	18号住居	23	浅鉢	加E I 新	a	b		8		116	伊奈町	原	96号住居	90,95,98	浅鉢	勝坂末	○ ○			30	
40	ふじみ野市	神明後	18号住居	26	有孔鉢付	加E I 新	○			8		117	伊奈町	原	96号住居	91,97	浅鉢	勝坂末	○			30	
41	ふじみ野市	神明後	19号住居	37	有孔鉢付	加E II	○ ○			8		118	伊奈町	原	96号住居	92,96	浅鉢	勝坂末	b			30	
42	ふじみ野市	神明後	21号住居	6	浅鉢	加E I 新	b	a		8		119	伊奈町	原	99号住居	40	浅鉢	勝坂末	a	a	黒色と赤色で塗彩	30	
43	ふじみ野市	神明後	22号住居	28	浅鉢	加E I	○		外面隆帯		8		120	富士見市	北通	2号住居	7	浅鉢	加E I 新	e	e	内面は連弧と渦巻に塗彩	31
44	ふじみ野市	神明後	22号住居	31	浅鉢	加E I	○			8		121	富士見市	羽沢	土94		浅鉢	加E II	a	a	内面口縁部に沈線文	32	
45	ふじみ野市	神明後	22号住居	32	浅鉢	加E I	a			8		122	富士見市	中沢	21号住居	1	浅鉢	加E I 新	○			33	
46	ふじみ野市	神明後	22号住居	33	浅鉢	加E I	e	渦巻? 大きな円弧		8		123	富士見市	中沢	4号住居	2	有孔鉢付	加E II	○		赤色顔料下地に黒色脂	34	
47	ふじみ野市	神明後	22号住居	35	浅鉢	加E I	a			8		124	富士見市	中沢	9号住居	2	有孔鉢付	加E II	○			34	
48	ふじみ野市	神明後	22号住居	45	有孔鉢付	加E I	○ ○			8		125	富士見市	中沢	18号住居	86	浅鉢	加E II	○		黒色	34	
49	ふじみ野市	神明後	集合石7	2	浅鉢	加E	b	b		8		126	富士見市	中沢	18号住居	90	有孔鉢付	加E II	○			34	
50	ふじみ野市	東北	東北	45号住居	1	有孔鉢付	加E II	a		9		127	富士見市	中沢	48号住居	1	浅鉢	加E I 新	○			35	
51	ふじみ野市	東北	東北	92号住居	1	浅鉢	勝末	○		10		128	所沢市	海谷	2号住居	3	有孔鉢付	加E II	○			36	
52	ふじみ野市	東北	東北	147号住居	87	浅鉢	勝末	○		11		129	猿山市	滝原	包含層	10	浅鉢	勝坂	○		沈線渦巻文	37	
53	所沢市	膳棚	12号住居	c12	浅鉢	加E II	e	渦巻? 大きな円弧		12		130	猿山市	丸山	8号住居	34	浅鉢	勝坂末	c		沈線半隆帯渦巻文	38	
54	所沢市	膳棚	6号住居	c13	浅鉢	加E II	e	渦巻文		12		131	猿山市	宮地	81号住居	13	浅鉢	勝坂末	○			39	
55	東松山市	岩の上	4号住居	6		加E II	○	沈線文		13		132	飯能市	堂前	遺構外	18	浅鉢	加E	b,e	b	渦巻文	40	
56	入間市	坂東山	炉穴状遺構	2	浅鉢	加E II	○			14		133	飯能市	芋久保	1号住居	16	浅鉢	加E I	○ ○		沈線渦巻文	41	
57	伊奈町	志久	1号住居	2	有孔鉢付	加E III	○			15		134	飯能市	加能里	7号住居	22	浅鉢	加E I	○ ○		沈線渦巻文	42	
58	さいたま市	寿能泥炭層	グリッド	1	瓢形注口	加E IV	d	U字型鉢付いれ取付		16		135	飯能市	加能里	11号住居	24	皿	勝坂III	○			43	
59	さいたま市	寿能泥炭層	グリッド	2	瓢形注口	加E IV	d	a	渦巻微隆起		16		136	飯能市	加能里	11号住居	27	浅鉢	勝坂III	○		双環把手	43
60	さいたま市	寿能泥炭層	表探	10	浅鉢	加E I・II	e	e	赤色と黒色塗彩														



第199図 埼玉県内出土の縄文時代中期の塗彩された土器 (1/12)



第200図 埼玉県内出土の塗彩文様のある土器集成 (1/4)

120. 針ヶ谷北通2住居